

# 寺崎組新聞

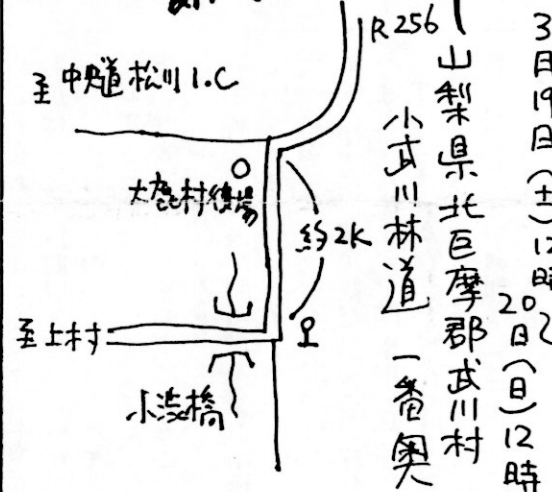
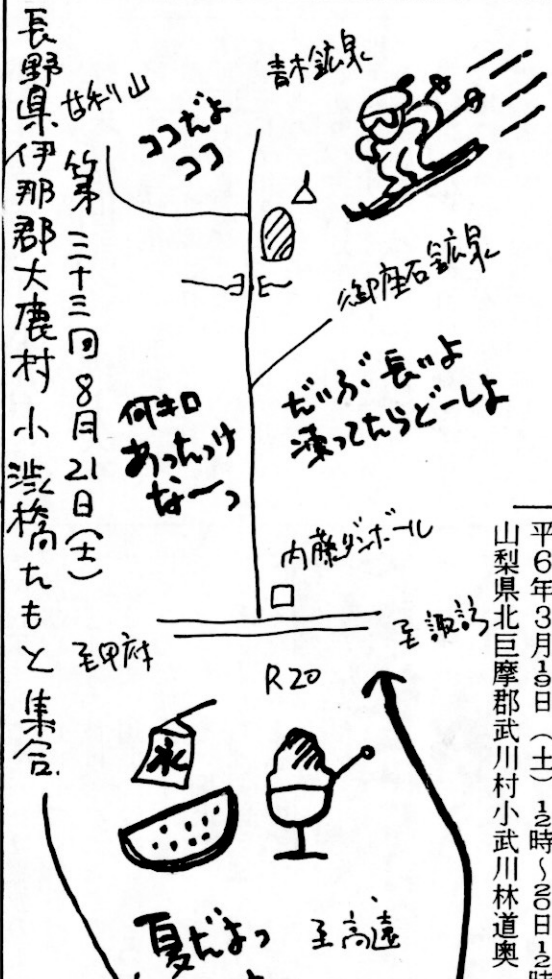
発行所 寺崎組新聞社  
東京本社 0423-25-0350  
〒185東京都国分寺市東元町3-29-7

## 野宿宴会地決定!

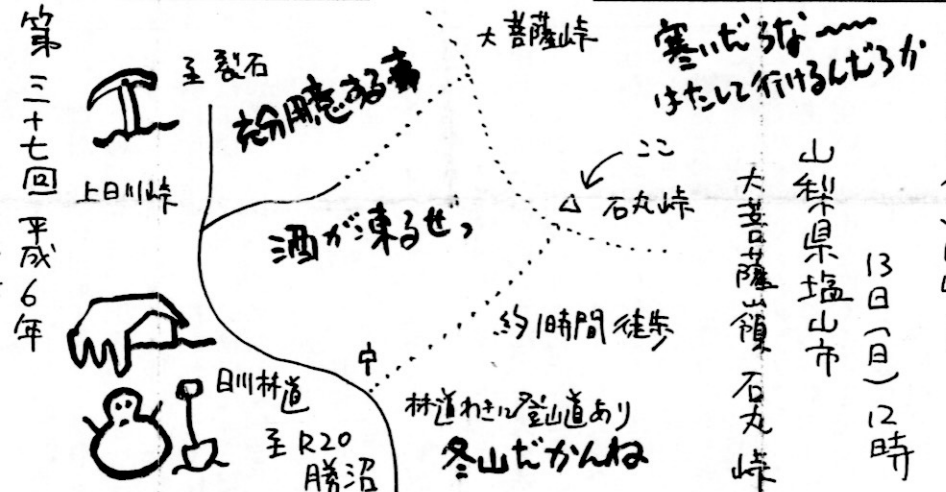
### 組員全員集合

○野宿宴会、野宿塾と併催  
最近、奇る歳並みとなる傾向にあり、寺崎組は泥酔組となる傾向にあり、寺崎組本来の目的を新たにすべく、飲むだけでなく走りを取り入れた宴会、すなわち野宿塾を積極的にやろうとわなにかという結論に達したのであります。すなわち、今年度前半の4回はすべて野宿塾体制を取ることとする。通常の野宿塾と違い、多人数になれば3〜4人のグループに分けて走行するものとする。

集合場所・宴会地を見ても分かるように、北海道・九州地区その他の組員には遠隔地になってしまっている。しかし、通常の野宿塾は随時受け付けているので北海道・九州その他の組員は組長と連絡を取り、3人以上(遠い地区は多いほうがいいんだけどね)の組員を取りまとめて野宿塾を地元で是非開催してほしいもんだと切に願う。組員同士、密に連絡を取り合い、スケジュールが合えばいろいろな地区の者が全然別の場所でも落ち合って野宿塾をすることも可能なのだ。まあひとつよろしくね。



- 第三十二回野宿宴会塾  
平5年5月2日(日) 11時〜12時  
福島県南会津郡田島町
- JR会津線田島駅前集合 時間厳守  
(組長の決めたコースを走り野宿し、翌日昼頃解散、以下野宿宴会塾同じ)
- 第三十三回野宿宴会塾  
平5年8月7日(土) 11時〜12時  
長野県伊那郡大鹿村小渋橋たもと集合
- 第三十四回野宿宴会塾  
平5年10月6日(土) 11時〜12時  
山梨県塩山市  
JR中央本線塩山駅前集合
- 第三十五回野宿宴会塾  
平5年12月4日(土) 11時〜12時  
長野県諏訪郡富士見町  
JR中央本線富士見駅前集合
- 第三十六回野宿宴会塾  
平6年2月2日(土) 11時〜12時  
山梨県塩山市大菩薩嶺石丸峠
- 第三十七回野宿宴会塾  
平6年3月3日(土) 11時〜12時  
山梨県北巨摩郡武川村小武川林道奥



第三十六回 平成6年  
2月12日(土)12時〜  
13日(日)12時  
山梨県塩山市  
大菩薩嶺 石丸峠  
酒が凍るぜ、  
冬山だかんね

### 北海道 春夏秋冬「春の章」

内地の方では、この時期になると春到来といった感じですが、こっちはまだまだ峠を越えて内陸の方へバイクで行くのは厳しい日々が続きます。ちょっと天候が悪化するもあってという間に雪景色ですし、林道や主要道路以外の峠は5月中旬頃〜6月上旬まで雪の中です。そんなわけでもうこれは林道ツーリングと言えは季節、スノーアタックツーリングとなってしまいました。まあこれはこれで結構楽しいのですが、林道をつないで旅をするというにはほど遠く、あの荷物を付けたままでは100mも進まないうちにスタックの嵐となってしまう。そこでこの時期は南、南を目指して走る今日この頃です。

さて春と聞いて大概の人は何を考えるのでしょうかねえ?私の場合はずっと雪解け、バイクシーズン到来、そして山菜の季節といった所でしょうか。旅をしていて食べる事というのはかなり大きなウエイトを占めています。やはり季節の物を現地で調達して料理をするというのがなかなか良いと思えます。そこで今回テーマは山菜ということを進めてみましょう。普通山菜というとなんかポピュラーな所で、わらび・ぜんまい・つくし・タラの芽等といったところですが、北海道の場合これにアイヌネギ(内地では行者ニンニクと言います)・こごみ・アズキ菜・竹の子などが入ってきます。こっちは場合、4月中旬から6月下旬頃までは林道を走っているといたる所で山菜取りの人や車がみられます。大体は土地のおじいさん、おばあさん等が多いのですが林道の向こうからクラウンやベンツなどが走って来るとさすがに驚いてしまいます。しかし、こっちは一向に気にしていません。普通山菜という珍らしい物と一般に手に入りやすい物と思われがちですが、大量に取るのにはなれば以外と身近にある物です。ましてや一宿一飯の私達が食べる分なら片手に一握りもあれば十分おかずにあります。さてどんな所を探せば良いのかというところ、わらびなどは比較的に日当りの良い林間や斜面に多く、その辺りには前年に枯れた葉があります。タラの芽などは山菜の王者などと言われ高い値で売られています。林道を走っているとよく見かけるものです。植林の終わったばかりの斜面やハゲ山になったあたりに、あの特徴のあるトゲトゲの木に手の平を開いた様な芽

HONDA XLY750R  
空冷4気筒Vツイン

走行12000km強  
バッテリー・クリ・キー・無し  
3万円なり、ユーザー車検  
ライト時10回落ちるトコナ

軽量化が効く  
持ち運びが楽!

下駄は木製のXLRの新車時の物と交換  
とにかい!!

山梨県  
ナバー

たずねん  
美奈子ちゃんりん  
りくまくれよん

北海道支部長 北脇

野の味をおためしあれ!  
最後に私の都合で2月号に「冬の章」が間に合いませんでした。すみません。スノーモービルの話はまたの機会という事でお許しのほどを。それではまた。

### ツーリンググエツセイ 体力一本勝負! (秋山カバさん)

7月27日、よく晴れたクソ暑い日の夕日が眩しい午後6時、私は阪神高速(大阪の首都高みたいなもの)の上で単車を押していました。ついさっきまで元気よく走っていたのに、渋滞にはまった途端、止まってしまったのです。なんとか警察に見つかると前に一般道に下りたのですが、結局バイク屋まで押すこと17km、午後9時40分までかかってしまいました。原因は暑さによる燃料ポンプの故障。キャブレターよりも高い位置にある燃料はポンプが無くても出てくるので、ガソリンを満タンにして、コックからキャブレターへホースを直結したら走れるようになりまし。仕事はパーになり怒られるやら、笑われるやら。大阪の街中を押ししている間、飲んだお茶やジュースは全部足すと5lを越え(350ml+500ml1本)、三重の自宅に帰ったのは午前様でした。ちなみにこの間は飲むばかりで何も食べませんでした。

### 組長「買っちゃった!」とのたまう

組長がやっちゃった!とのたまう大型バイクを購入してしまいました。その名も「ホンダXLY750R」。別名、ザ・キング・オブ・ランドスポーツ!まさに組長に相応しいバイクではないか。そのスペックの高さや、現在でも十二分に通用する画期的なメカニズムを持つにもかかわらず全然一般人には受け入れられなかった事、そして武骨なスタイリングといい、まさに組長とそっくりな運命を歩んできたバイクなのだ。

スペックは...空冷4サイクルSOHC45度Vツイン、3バルブ・ツインプラグ、最高出力五十五馬力、角パイプダブルクレードルフレーム、オートバルブアジャスター、フロントディスクデュアルピストンキャリパー、サスは前後ともエアードライヴ、セル始動車重195キログラム。らしい。

組長は編集会議に於いてスペック等を話題にしたかったらしいが、別記の税金の話で誰にも相手にされず、スネてしまったのでここに記事として載せる事になった。  
チャンチャン  
本田庄司 記



### 野宿宴会 小武川林道

#### 第拾回記念 鍋大会

第三十回寺崎組々会は我母なる地、小武川林道で開催された。この林道へは、何度足を運んだことだろう。寺崎組は、そして組員はこの小武川の川沿いに数々のテントを張った。上越グループしかり、友人達を野宿に引き込んだ地下鉄しかり、そして本日俯瞰のペンを取らせて戴く私ストウしかり。

寺崎組は小武川の流れの淵の冬枯れの大地に、自らの身を守る装備と、少しばかりの旅心を持って、今回も集合したのであります。

本月初登場の欧州仕様のXRで参加第一号は、私ストウであります。林道の急カーブを右に折れたその先に、寺崎組長の姿を見た時は自分がここへ来るべくして来た事思ったのでした。

やや遅れて参加は、トム通信の荷ぐれ佐藤でした。組長が自転車の旅を始めて、それがきつと彼の心を動かしたのだらう。上野原駅から、汗をかきかき甲州街道を走って来ました。装備はご存知荷崩れ仕様です。

やがて自社製品のDRにて参加は、浜松杉山です。社名はスズキに変わろうと、彼は変わらぬ旅人ぶりで、国道52号をひたすら北上です。

私と林道入口で会ったストウコ山本は、走り夢中で上流運行してやがて戻って来ました。バイクはヤマハ・アルティシア。旅は、それぞれにとっていつもやすらぎなのであります。声が大きく、そして彼は今夜も焚火の主でありました。

しばらくして、歩きの大島さんの登場です。ストウコ山本のユースの間だという事です。彼は、寺崎組の小さな旅の輪の中で、今夜何を思ってくれたらうか。

そして、小冊子VTR等でEGGで働き者の元ちゃん登壇です。角田の元ちゃんはなかなかのバイク乗りです。



てXR風に改造のバハは、彼の柔らかい遊び心を感じさせてくれるバイクです。21才の彼は、私ごときの硬い頭ではとうてい追いつけないほどの可能性を含んだ旅人です。

きつと点無や、堀沢や、康井や同年代の若い人たちは、いい旅を続ける人になるだろうと思うのです。



又もや歩きの出陣です。茨城の青木です。どうして彼はいつも元気に明るいのでしょう。彼は看護士、人の痛みを知った旅人です。

今度は点無です。彼も旅を重ねて最近の多さが気になるもの、なかなかの旅人になりつつあります。心やさしき熱血の熊本県人は、いつも静かな目の暖かい青年です。

少し間をおいて4ストサウンド連発で参加は、地下鉄前原・でいく庄司のバハだ。それぞれの旅は折にふれて我々の耳に入るのです。いつまでも、きつといつまでも同じ旅の空に在ることだろう。

さあ、この人が問題だ。多くは語らない。セローのホワイトハウス仕様の改造のニューマシんで参加はジェームス杉本だ。何て奴だ。すごい奴だ。まだまだ来ます。関東地区最強メンパリのヨドパンは、いつもの大荷物バハだ。今夜も荒れる予感の、そんな夕暮れだ。久々の参加はCB750K2の社長木村です。結婚したそう。幸せそう。ああ、そうかい。

ラストは大田区山王からのTW柳沢だ。柳沢とは平和島で会って以来の久しぶりの顔見せだ。TWが好きなんだそう。翌日、川瀬を先頭に私達7台に中央道でプチ抜かれるまでは、彼は平穏だった。いい夜になれるだろう。テントはフーマプラス1だ。

日暮れ前にケキを差し入れにきてくれたのは阿南親子だ。私達はしばしの家庭の味を楽しんだのだ。子供も大きくなって、阿南さんもいい父親ぶりを見せてくれた。

スタップは沢海氏、坂戸氏、そして組長。ほうとう鍋と共に、焚火を囲みいつもの狂乱の夜は平和そうに過ぎてゆく。しかし、このままで良いのだろうか。寺崎組は仲良しクラブでもツーリングクラブでもない。

組長は、いつもの笑顔のその奥で、この光景を少しの憂いを持って見て来た。この組会は、一人一人の旅の集大成であってほしい。この組会のみで全力を注いで装備を作るとを止めてほしい。一人で旅ができる装備と、孤独の夜に耐えられる心を寺崎組は持ち続けなければならない。

は始まった。我々もそのようにあらねばと思うのだ。一人のために荷を作ろう。自分のために荷を積もう。そして走ろう。

平成5年の組会が変わります。そのために、心をふくらませて、地図を読み、季節を感じ、静かに、力強く、クラッチを握ろう。

(記) 出すぎたストウかな!



阿南親子の子どもです。うきうきなアナンJr.の組員の中には子供がほしいと言った者がいたけれど、着はせたいから、見たいはあきらめないやう

今月の☆☆☆カス☆

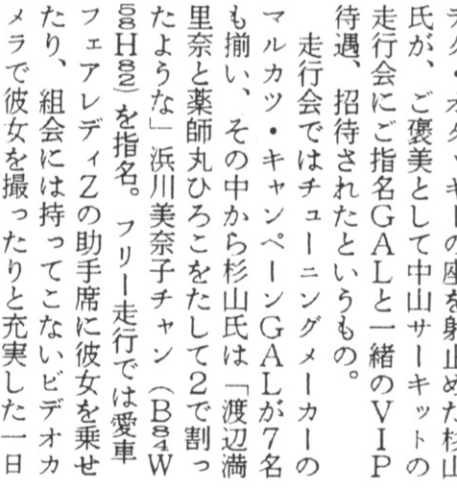
杉山氏・ボディコンギャルに!!!

組長談「貴様はそれでも帝国野宿人か」

チョンガー野宿者の皆さん、重大ニュースがあります。著作権上、写真は載せられないのでまずはお近くのコンビニ・書店に走り「レブスピード」5月号(ニューズ出版)をお求めください。そして気を落ち着け九十五ページを開きます。そして大声で、「ぬわ!このス〇コマン野宿者お」と叫びましょう。

お求めになれなかった方の為に内容を説明すると、カーチューニング誌である同誌の十月号企画「マルカッGAL」争奪ドラテク・カルトQ」の準ドラテク・オタクキーの座を射止めた杉山氏が、ご褒美として中山サーキットの走行会にご指名GALと一緒のVIP待遇、招待されたというものです。

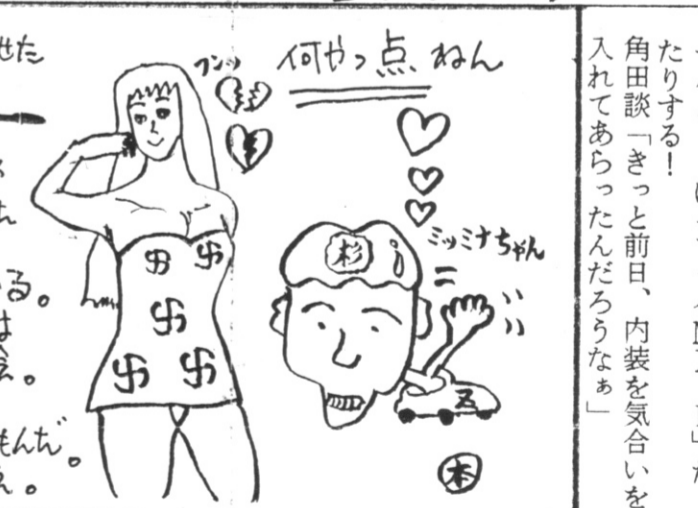
走行会ではチューニングメーカーのマルカッ・キャンベーンGALが7名も揃い、その中から杉山氏は「渡辺満里奈と薬師丸ひろをたして2で割ったような」浜川美奈子ちゃん(B&W H&W)を指名。フリー走行では愛車フェアレディZの助手席に彼女を乗せたり、組会には持ってこないビデオカメラで彼女を撮ったりと充実した一日



を送ったようだ。(ビデオは回覧せよでも普通のカッコでZの横に立つと高身長・好青年(中年?)といった感じで、普段の野宿生活とのギャップが「グツとくるねえ」であった。

でもみなさん、やはり彼も生粋の寺崎組員。Zのコクピットに納まる彼のヘルメットは「アライM X E」だったりする!

角田談「きつと前日、内装を気合いを入れてあらったんだらうなあ」



赤貧大王の野宿情報

朝が楽しみな野宿地

その1 秋田県森吉町森吉山スキー場 標高1000m程のスキー場なので夏でも冷え込む時がある『食』『酒』『G』などは30分以上かかる。大平湖から阿仁川にかけての盆地に雲海が広がります。朝日が正面の山々を赤く染め初めると、えも言われぬ風景が広がります。シャッターを押さずにはいられない。

その2 岩手県遠野市の荒川高原 スズジには有名な高原牧場。『食』『酒』『G』は遠野市で仕入れるのがベターである。明け方に霧のかかる事が多く、高原の木々がガスの中に浮かび上がり、アウトライダー風の写真がとれる。トンボなどの虫が多い所なので口を開けて走行せぬ様に。展望台へのヒルクライムが楽しい。

その3 和歌山県大塔村、林道観音谷 黒線の黒野峠より南へ派生する不動沢 林道脇の広場

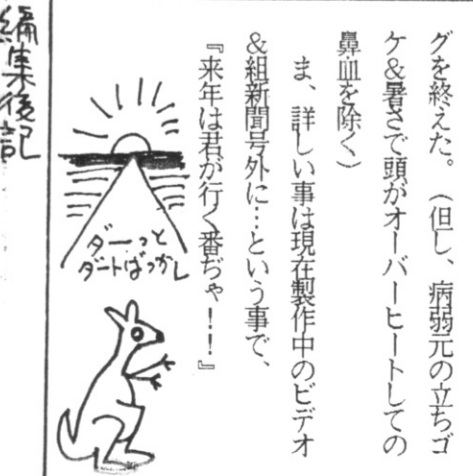


野宿塾山オーストラリア帰朝報告

去る3月6日、オーストラリアに向けて旅立った飲酒運転御一行様は無事に3月15日成田に降り立った。

現地では異常気象の好天に恵まれ、無事故・無違反・無転倒にてツーリングを終えた。(但し、病弱元の立ちゴケ&暑さで頭がオーバーヒートしての鼻血を除く)

ま、詳しい事は現在製作中のビデオ&組新聞号外に...という事で、『来年は君が行く番や...!』



編集後記

編集長「バックレ税金に技をかけたのによつてくじょうめ

●税金一あのー会社やめて、一年間オーストラリアを旅してきます。改造バイクも何もその旅のためだったのですアハハ、4月16日キャセイパシフィック505便ホリコン行17時35分発で行くぞ。ダハハハ

●地下鉄一オレ以上のバックレ野郎がいちどは気がまきませんぞ!

●本田一チンガールオレも会社やめて、点検一税金さんかきつけて

●ストウ一様復旧にいます今は

●TW一モーターに行くぞー

●元一仕事命令アアカ象近レ

●野一ローも電機してスミマセン

一寺崎組新聞の定期購読の告知

この新聞は年六回の発行を予定しております。年間購読料は二千元以上です。購読希望の方は何らかの方法(現金書留・郵便振替・普通封筒に入れて等)で送っていただければ幸いです。この新聞を永続させるためにも原稿ともども新聞制作のお手伝いにも来ていただければ幸いです。

「原稿欄大募集の告知」

良い子も悪い子も寺崎組もその子備軍も自分らしさを原稿で写真でマンガで自分だけの表現でしてみませんか? 送り先は左記

〒一八五 東京都国分寺市東元町三二九九七 スタジオエッグ寺崎組

